

平成27年

## 議会報告会および意見交換会の検討結果

昨年10月27日から30日に実施しました「議会報告会および意見交換会」でいただいたご質問やご意見について、各常任委員会や特別委員会で検討し、その結果をまとめました。

現在、調査中のものもありますが、現段階の状況を報告します。

「議会報告会および意見交換会」は毎年実施しますので、多くの町民のみなさまのご参加をお待ちしております。また、ご意見等がありましたら、遠慮なく各議員または議会事務局までお申し出ください。

平成28年2月

日南町議会

議会事務局 電話 0859-82-1900 ファックス 0859-82-1131

メール s0800@town.nichinan.lg.jp

### 総務教育常任委員会で検討したもの

#### 1. 防災対策について

ア. 総務教育常任委員会で議論のあった原発関係の話を聞きたい。中国電力は30km以内でないと報告しないとしているが、日南町は距離に限らず情報提供せよと発言していくべきと考える。島根原発から40kmの地点にあり、風向きによっては、日南町の方が危ない。

答) 本町は島根原子力発電所より40km圏内ですが、境港市や米子市は30km圏内に入っています。事故発生時の本町への避難者受入態勢について報告がありました。地域防災計画（原子力災害対策編）については町のホームページで公表しています。ご意見のとおり、距離だけでなく風向きの影響も大きく、島根原子力発電所からは鳥取県危機管理局を通して町へ情報の報告を受けることとなっています。

イ. 萩山地域はほとんどレッド又はイエローゾーンであり、災害時には孤立する所がかなり出ると思われる。

答) 避難所は公の施設に限定せず、各自治会の自主防災組織において対策を検討していただきたい。

## 2. 公共施設整備・維持管理について

ア. 福栄コミュニティー施設建設に関して、現在の福栄地域振興センター横のプール跡地に単独の施設として建設していただきたい。

答) 本当に今検討しているプール跡地で良いのか。現在建設予定の土地は急な坂の上であり、今後高齢者も多くなる中、利用に問題が出てくるのではないか。旧農協跡地、旧福栄小校舎跡地も選択肢としてあるのではないか。地域のみなさまの気持ちを踏まえ議会として検討していきたい。

イ. 寄宿舍を改修して、お試し住宅とするとあるが、どのような人を対象として運用していくのか教えていただきたい。高齢者も受け入れるということだが、高齢者向けについては「なごみの里」や「かすみ荘」には現在も空きがあるがどう違うのか。

答) 高齢者シーズンステイ用と、県外から日南町に移住したいと考えている方のお試し住宅として運用する予定です。テレビや洗濯機などの家電も設置しており、すぐにでも入居できるようにしています。「なごみの里」は使用期間の制限はありませんが、「かすみ荘」と高齢者シーズンステイ住宅については、使用期間を最長6ヶ月としています。独居の高齢者は多くなっており、冬期間に向かい入居希望者は多くなると考えています。

ウ. 旧法務局解体跡地はどのように運用していくか教えていただきたい。駅も近いので、子育て世帯を対象とした4階建のマンション等を建設し、通勤・通学の負担軽減を図り、通勤農業をし、子育て期間が終われば元の家に戻っていただくというのはいかがでしょうか。

答) 定住のための分譲地として整備予定です。マンションの運用は需用があれば良いとは思いますが、子育て世帯の負担軽減にはなりません。「元の家」を離れる期間、地域を誰が支えるのか等の課題もあると考えます。

## 3. プレミアム商品券について

ア. 地方創生事業としてプレミアム商品券などを作られたが、どのような効果があったのか。

答) 実際の効果は、商工会等の評価が出てこなければ分からない部分です。発行額の実績は、約60,000千円で、換金額は59,478千円です。子育て支援分の発行額が4,720千円で、換金されたのは4,610千円、低所得者

向け分の発行額が140千円で、換金されたのは109千円です。

- イ. プレミアム商品券について、商工会は15日締切りで受け取り、換金は月末である。すなわち、15日以降のものは翌月の末まで入金を待たなければならず、販売者には売上げと入金に大きな日差が生じている。扱いは現金と同じプレミアム商品券であるが、そのあたりは、計算されていたのかどうか。
- 答) 商工会は当初、質問のとおりの方針でスタートしましたが、なるべく早く換金してほしいとの要望があり、可能な限り早急に対応したとの事です。今後同じような事業があれば迅速な換金方法の検討を求めます。

#### 4. 公園管理について

- ・ 菅沢神社の横の遊具で遊んでいる親子を見かける。遊具の安全点検は町がするものか。
- 答) 日南町が設置し管理しています。しばらく点検が行われなかったようですが、平成27年は点検されています。今後定期的な安全管理に努めるよう求めます。

#### 5. エネルギー施策について

- ア. 電気自動車用の急速充電器が身近にあれば、電気自動車ももっと普及するのでは。
- 答) 町内でも役場、ゆきんこ村には設置済です。ホームランド多里、上石見駅には本年度設置される予定です。来年度には道の駅にも設置される計画です。また、電気自動車で中心地域を巡回する計画もあります。
- イ. 新しい下石見発電所はどこが管理するのか。
- 答) 新石見小水力発電所は町営の発電所です。石見東太陽光発電所と同じように、町の管理です。
- ウ. 日南町小水力発電公社は、河上の小水力だけ持っているということで良いか。
- 答) 日南町小水力発電公社が管理運営するのは、新日野上発電所だけです。

#### 6. 住宅改修助成と危険家屋について

- ア. 住宅改修助成金について、本年度で終わると聞いたが詳しく聞きたい。
- 答) 平成27年度で終了する3年間の期限付きの助成制度でしたが、評判も良く、利用者も多数であったので、新たに3年間助成期間を延長することとし、3月議会に上程予定です。利用実績としては、平成25年度111件(助成額23,768千円)、平成26年度65件(助成額6,190千円)、平成27年度(12月末現在実績)77件(助成額6,725千円)です。

イ. 隣のトタンが飛んで来ている。住んでいる方に言ってもらえないか。

答) 危険家屋として、住民課へ連絡します。

## 7. 学校関係について

ア. 日野高校は地域に人材を残すための必要な高校である。進学する者への支援策を検討してはどうか。教育熱心な先生を呼んで来てほしい。日野高校の保護者会からの意見はないのか。

答) 平成30年度に高校再編が予定されています。日野高校の在り方として今の総合学科で良いか否かということの議論が必要であり、在校生の親より次世代の親の考え方が重要とされています。その時日野高校が残ることができるのか。今からの動きが大切と考えます。

イ. 日野高校コーディネーターは3町負担金額に見合う事をしているのか。

答) 地域交流イベントの企画等していますが、ソフト事業なので成果は形として表しにくいと思います。

ウ. 中学校にサッカークラブを作れないか。

答) P T A で検討すべき事項と思います。

## 経済福祉常任委員会で検討したもの

### 1. 林業関係事業について

ア. 山林の持ち出し補助金、間伐補助金は減るのか。

答) 鳥取県の単県事業である間伐材搬出補助金は継続の予定ですが、国の間伐補助金については若干減額される方針が示されています。

イ. ウッドカンパニーについて、粉塵が飛ぶなどの問題はかねてからあると思うが「道の駅」の建設に影響はないのか。また、「廃業」するような話もあり今年検討するとのことだったがどうなのか。「6次産業化」という言葉が盛んに聞かれるが、林業振興についてはオロチだけではなくウッドカンパニーの力も大切と考えている。移転費など町も応援すべきと考えているがいかがか。

答) 経営不振を理由に平成27年末に営業を停止する予定でしたが、林業・木材産業の振興と雇用確保のためにも経営改善により営業を継続するよう議会から要請し、執行部にも今後の対応について緊密に連携をとるよう要請しています。また、ウッドカンパニー周辺への環境影響調査を実施し、基準をクリアーしており問題はないと判断しています。

ウ. オロチへの支援について、その後の運営状況はどうか。

答) 12月に開催された株主総会の決算では、過去3年間(第8期~10期)は僅かですが、単年度黒字決算となっており経営改善に向っています。原木として年間約3万m<sup>3</sup>の町産材を仕入れ、町は1m<sup>3</sup>あたり1,000円の原木助成を継続しているところです。生産量の増産のためにも安定した従業員の確保と増員が急務となっています。

## 2. 管ヶ谷ブローラー団地について

・ 管ヶ谷ブローラー団地の払い下げが出来ないのか。修繕を町が行い収益は事業者に入るのはおかしい。

答) 平成18年度以降、再三にわたりブローラー生産組合に払い下げるよう決算審査で指摘していますが実現していません。対応を急ぐよう改めて執行部に求めているところです。

## 3. ゆきんこ村の指定管理について

・ ゆきんこ村の指定管理委託料の金額が当初の倍以上になった(800万円)その根拠は。  
・ 維持管理し続ければ、経営が安定または好転するという根拠はないのでは。地元の方の「なくしたくない」という思いも分かるがどうか。

答) 「ゆきんこ村」も「にちなん邑」も指定管理者制度により民間業者に経営を管理委託していますが、「ゆきんこ村」については指定管理者を募集しても応募がない状況から管理委託料を年間350万円から800万円に引き上げることに議会も同意しました。委託料の根拠は、施設の維持管理にかかる経費を積算して設定しております。今後も、都市と農村の交流、日南町の農産物や特産品・加工品販売など、より地元とより密着しながら計画を立てて町の活性化につながるよう企業努力をしていただきたいと考えています。

## 4. 除雪について

ア. 予算審査特別委員会の意見として、除雪委託料が高いという評価。賃金を下げろということか。跡継ぎを養成するとしても、夏場の仕事はどうするのか。そのあたりの手当がないと若い人が育たないし、従事できない。

答) ここで書いている意味は、住民の要求は高くなるが、理解を得ながら過度の除雪とならないような基準作りが必要ということです。去年は事故や修理が続いて除雪費の高騰につながったので、除雪車の適正な管理・運用をすることで委託料の削減を検討すべきと意見をしたところです。

イ. 個人で除雪オペレーターの後継者育成をと言っても難しいのでは。事業所のほうで取り組んでもらうほうが良いのでは。

答) 今年度より「日南町除雪機械運転手の育成支援事業」により上限額40万円を助成し、法人・個人を対象に若手のオペレーター養成に取り組んでいます。今年新たに14人が免許取得予定です。

ウ. 除雪担当者が、特定の高齢者の家の除雪を行っている。不公平感がある。

答) 除雪にあたっては適宜公平な作業に努めています。

## 5. 道路改修について

・ 町道生山印賀線を通勤で使っている利用者も多い。道路改修の現状はどうか。

答) 町道生山印賀線の改良工事は、宝谷側から順次改良を進めるようにしており、概略設計区間は889m、詳細設計区間316m、用地買収も180mされています。国の予算の関係で全線改良には時間がかかるようですが、引き続き要望します。

## 6. 日南福祉会について

ア. おおくさ荘の休止が続いている。かすみ荘までの往復で利用者が疲れている。再開に向けて早急に職員の確保をしてほしい。

答) 介護職員の人材確保のために奨学金制度を設けて取り組んでいます。退職者が新規採用を上回る状態であり職員の処遇改善など抜本的な対策が急がれます。おおくさ荘の事業再開の目処は立っておらず、グループホームの受け入れ制限も続いていることから更に対応を検討します。

イ. 防衛費が増額、福祉費が減る。国の政治も希望が持てない。日南福祉会への支援を積極的に行うよう町に働きかけてほしい。

答) 日南福祉会への財政的な支援策を強めるよう執行部に申し入れます。

## 7. 地域介護事業について

・ 住民主体で介護の交流サロンを月1回、6月から実施しているが大変だ。  
・ まめな会はだんだん出られる人が減っている。今後は地元主導で茶話会や健康体操などを行うような動き。地元で世話する人がいないので、今までどおり町主導でやってもらわないとできない。

答) 介護保険制度の改正により新しく始まった事業であり、住民主体で取り組まれています。さまざまな課題があるので行政として地域の実態に即した指導・援助を図るようにします。

## 8. 子育て支援について

ア. シングルマザーの雇用、人材確保、生活をトータル（子育て、賃金）でサポートしないといけないと思うが、どうか。

答) 総合戦略プランで雇用人数等の数値目標を定めており、具体的な対策は平成28年度以降の予算に反映される見込みです。

イ. 放課後児童クラブは何を行っているのか。

答) 日南町社会福祉協議会が運営主体で、学校の長期休暇中や平日の放課後などに昼間保護者が家庭にいない児童に対して遊びや生活の場を提供して、子育てを支援しています。今年度から6年生までが対象となり1日平均20人が利用しています。

ウ. 子育て世代就労支援事業（事業所内保育）は決算審査意見で「町内からの多くの利用がある」と記載されているが利用状況を問う。（実際はあまりいないと思うが）

答) あかねの郷で実施している事業所内保育を利用する乳幼児は、全体で25人、20世帯であり、1日平均2～3人ですが、年度の出生数により増減があります。

## 9. 山の上保育園について

・ 山の上保育園の存続はどのようにしたらいいのか。

答) 保育園の存続は、子育てや保護者の就労にとって大事な問題であり地域全体での取り組みも必要です。現在のにちなん保育園、山の上保育園、石見保育園の3園体制は維持されます。

## 10. 日南病院について

ア. 日南病院の今後はどうなっていくのか。医者の確保や看護師の確保など将来が心配である。

答) 日南病院は、町民の医療・保健・福祉の中核であり、医師をはじめとした医療スタッフの確保は喫緊の課題であるので議会としても引き続き強く要望します。

イ. 26年度決算で4,800万円の赤字となっているが。

答) 公立病院の事業会計制度が改正されていたことを年度当初に予算要求で反映していませんでした。また、減価償却費の見直しや退職給付引当金などの計上の仕方に誤りがあったために発生したものであり、議会としても注意を喚起しました。

ウ. 病院事業改革プランの委員であるが、医療福祉などに携わった者でないと理解が難しいと思われる。

答) 第2期改革プランについては、第1回の策定委員会を8月27日に開催し、今後院内の意見聴取や町民のパブリックコメント募集をして年度内にまとめて議会に報告することになっています。

エ. 最近、日南病院の患者が少ないようである。患者が他の病院に流れているのでは。また、他の病院では、アンケート調査などを行い改善に繋げているが、どうか。

答) 人口の減少や、小児科が常勤医体制でなくなったことにより外来・入院ともに患者数が漸減しています。地域医療の拠点として存在意義は大きく抜本的な対策を講じる必要があります。

## 中心地域整備に関する調査特別委員会で検討したもの

### 1. 中心地域整備事業について

ア. 中心地域とはどこからどこまでか。中心地域に住めば、車がなくても生活できるということか。

答) 中心地とは霞から生山にかけての地域で、中心地域整備事業は道の駅周辺の整備事業です。中心地域内を公共交通でカバーする構想であり、時間と順路の制限があります。

イ. コンパクトヴィレッジの実現に向けて、NPOによるデマンドバスを地域で運営すべきと思うが。

答) 町長が6月議会でドアtoドアのデマンドバスの研究を進めると発言していますが、議会としては議論の俎上に載っていません。

ウ. サービス付き高齢者住宅やトレーニングセンターは整備されるのか。

答) サービス付き高齢者住宅の計画はありますが、トレーニングセンターについては町長から議会に対して説明がなされていません。

### 2. 道の駅について

ア. 「道の駅」の経営方針がはっきりと分からないがどうか。更には、経営の最終責任はどこにあるのか。

答) 議会も特別委員会で執行部と議論を重ねています。経営の最終責任は町長です。



イ. 町内の消費と観光客の消費では、運営していくのは困難と思われる。観光でPRし、県外から今以上に集客していくようにしていただきたい。また、外部から集客する方法について何か展望があれば教えていただきたい。

答) 町内では地域毎に地域おこしに熱心に取り組まれ、素晴らしいものがあります。観光協会と町が連携して観光をPRしたり特産品開発に取り組むよう提言します。

ウ. 近隣の道の駅の状況を見ると成功した事例、失敗した事例があるが、日南町の道の駅は絶対に成功させてほしい。道の駅に対して否定的な意見もあるが、日南町一丸となってやっていかなければ成功はないと思う。

答) 現在掲げている年商を得るのは厳しいと感じています。最初からうまくいなくても長期的に見て成功する方法を摸索することも必要だと考えます。町民のみなさまからも多くの意見を出していただきたいと思います。

エ. 道の駅が来年オープンするが、江府町の道の駅などなかなか苦労しているようだ。工夫するように言われてもなかなか発想がない。

答) 食のバザールに参加して、町内事業者や団体等のみなさまが出店している様子を見て心強く感じました。田舎では当たり前のもので都会では珍しい。関係者が少しずつ努力すればきっと成功できると思います。

オ. 道の駅に出品するためには管理日誌をつけるのが手間。青空市のほうが取り組みやすい。道の駅の運営・運用について、食のバザールは米子のほうでも評判がいい。メリハリのあるイベントをすることで、道の駅も盛り上がるのでは。

答) トレーサビリティ（食品の安全性を確保するために生産履歴を明らかにする制度）の取り組みは食品販売をするうえで必要な事です。道の駅で食のバザールを開催する予定であり相乗効果に期待します。

カ. 道の駅は昭和の終わりくらいに流行ったもので、時代遅れ感も否めない。ローソンやコメリなどができて便利ではあるが、そのため経営が苦しくなる町内の小売業もある。チェーン店は経営が不振に陥れば撤退してしまうのではないかと。さらには、食堂の経営まで行うというのはいかがなものか。

答) 議会でも検討課題であったため、商工会、農協、パセオ、関係者などとの意見交換会を開催しました。コメリやローソンなどが日南町になくとも、結局は町外に行かれるわけで、雇用と買い物の機会を確保すべきとの結論に至りました。

キ. 道の駅関係で生産者組織立ち上げ状況と施設運営方法はどうか。

答) 出荷者協議会は9月25日に発足し、会員登録は85名程度です。28年度の施設運営はMAサービスに管理委託をする方針です。

## 議会基本問題調査特別委員会で検討したもの

### 1. 議員定数について

- ・ 議員定数を減らせば現在問題になっていることは改善できるのか。
- ・ 議員定数については、率直にどう考えているか。それぞれの意見を伺いたい。
- ・ 定数を8人にしてはどうか。人口に対して多いのでは。

答) 議員の活動が見えにくいことや最近の議員選挙における立候補者数の減少などから町民の中に定数を減らすべきとの意見があります。議会制民主主義における議会の権能・責務の達成と民意との整合性のなかで議員定数を検討していきたい。

### 2. 議員報酬について

- ・ 議員報酬を改正し、報酬を上げたことについて説明していただきたい。
- ・ 女性議員や若い世代の議員が出てくるような環境を作っていかなければならないと考える。そのためには議員報酬を上げなければ改善しないと考える。今の低すぎる給料では魅力もないし立候補者も出てこない。
- ・ 議会に魅力がない。若い人が出てほしい。

答) 若い世代が議員として活動しやすい環境作りの一方策として報酬の引き上げを決めました。ただし、議会で決定した報酬額は西部地区特別職等報酬審議会において理解いただけなかった。今後、議会のあり方や議員報酬について町民と対話していきます。

- ・ 議員報酬の決め方について、審議会のメンバーは。強制力はあるのか。

答) 議会で議論し案を決定した上で西部地区特別職等報酬等審議会に諮問し、その答申は尊重します。審議会委員は7人で西部地区町村会長の委嘱です。

### 3. 議会開会日時について

- ・ 議会の開催を土・日とか夜に実施してはどうか。

答) 町民の負託に応え、議会の権能を発揮するうえで課題が多く、実施しないこととしました。職員の対応や財政負担の面からも実施は難しいと考えます。

### 4. 議会基本条例について

- ・ 議会基本問題調査特別委員会で議会基本条例の概要を説明していただきたい。

答) 議会とはどうあるべきか、議員はどのような活動をしていくべきかなど、議会の原則を定めいている条例です。

## 全員協議会で検討したもの

### 1. 議会報告会について

- ・ 議会報告会について、どういう広報をされたのか。昨晚の防災無線放送で初めて知った。議会だよりや町報にも書かれていない。もっと住民に周知する努力をされてはどうか。
- ・ 今年初めて出席したが人数の少なさにびっくりした。町民もそうだが議員にも熱意がない。選挙活動時のような馬力でお願いしたい。

答) 報告会開催の日程が決まったのが遅くなり、チラシ配布が間に合いませんでした。広報の手段は、ちゃんねる日南と防災無線放送のみでした。来年度は改善したいと思います。

### 2. 町政全般

- ・ 今後の日南町の向かうべき方向をどう考えるか。

答) 町長は「創造的過疎」と良く口にされるが、議会としても将来にわたって集落を維持していくことができれば誰もが幸せに暮らせるのではないかと考えており、我々議員も今後、議会活動に努めたいと考えています。